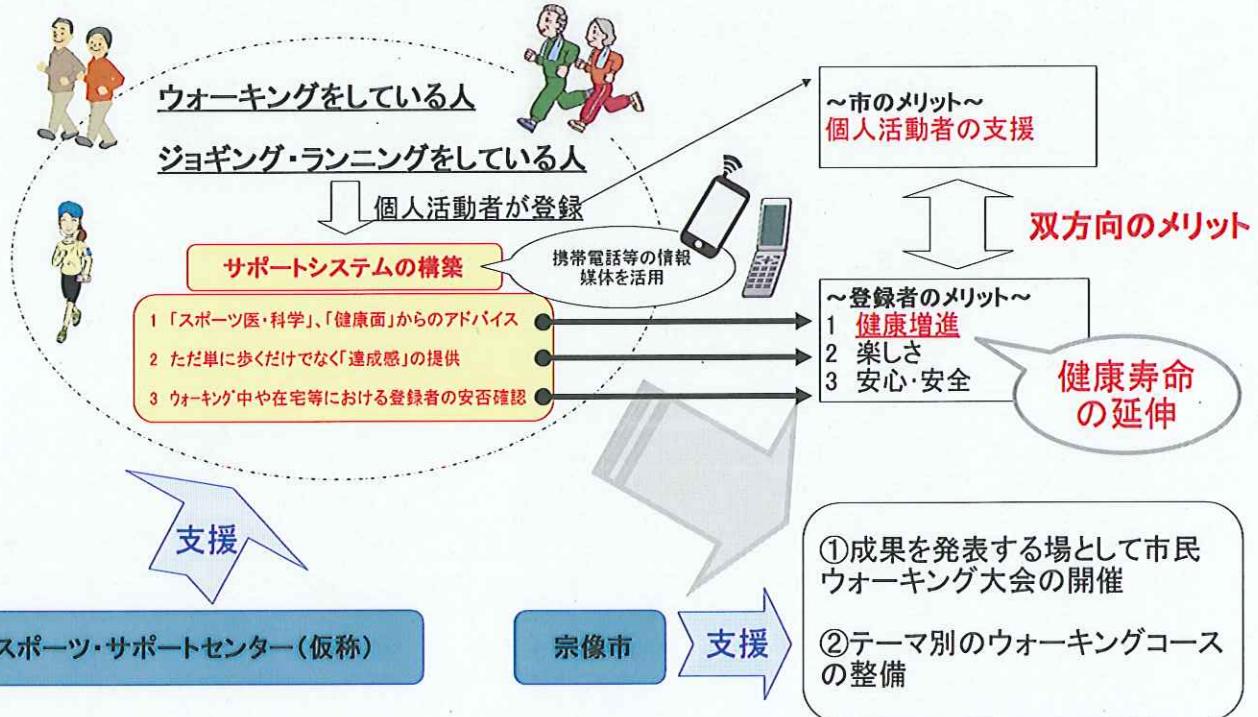


1 スポーツ・運動を通した市民健康活動の推進

誰もが気軽に取り組むことができるウォーキングやジョギング、体操等を市民が習慣化できる仕組みや機会を提供し、「健康で元気な宗像市民」を増やす。

市民エンジョイ・ウォーキング事業

誰もが気軽に入りたくなる携帯電話等の情報端末を活用した「双方向運動サポートシステム」を構築・運用する。



モデルコミュニティ健康スポーツdeハッピ一事業

モデルコミュニティを選定し、地域住民が毎日楽しく、笑顔でウォーキングや体操等のスポーツ・運動を実践する健康づくり活動を推進する。

モデルコミュニティ

スポーツ・サポートセンター(仮称)

日本赤十字九州国際看護大学
+
宗像市

結果を全市的な市民健康活動
を推進する上で活用

医科学に裏づけされた実践活動
及び学術検証

win-winの関係を構築
大学: 学術研究の場の確保
(フィールドワーク)
市: 健康で元気な市民づくり



市全域を対象とした総合型スポーツクラブの設立・運営

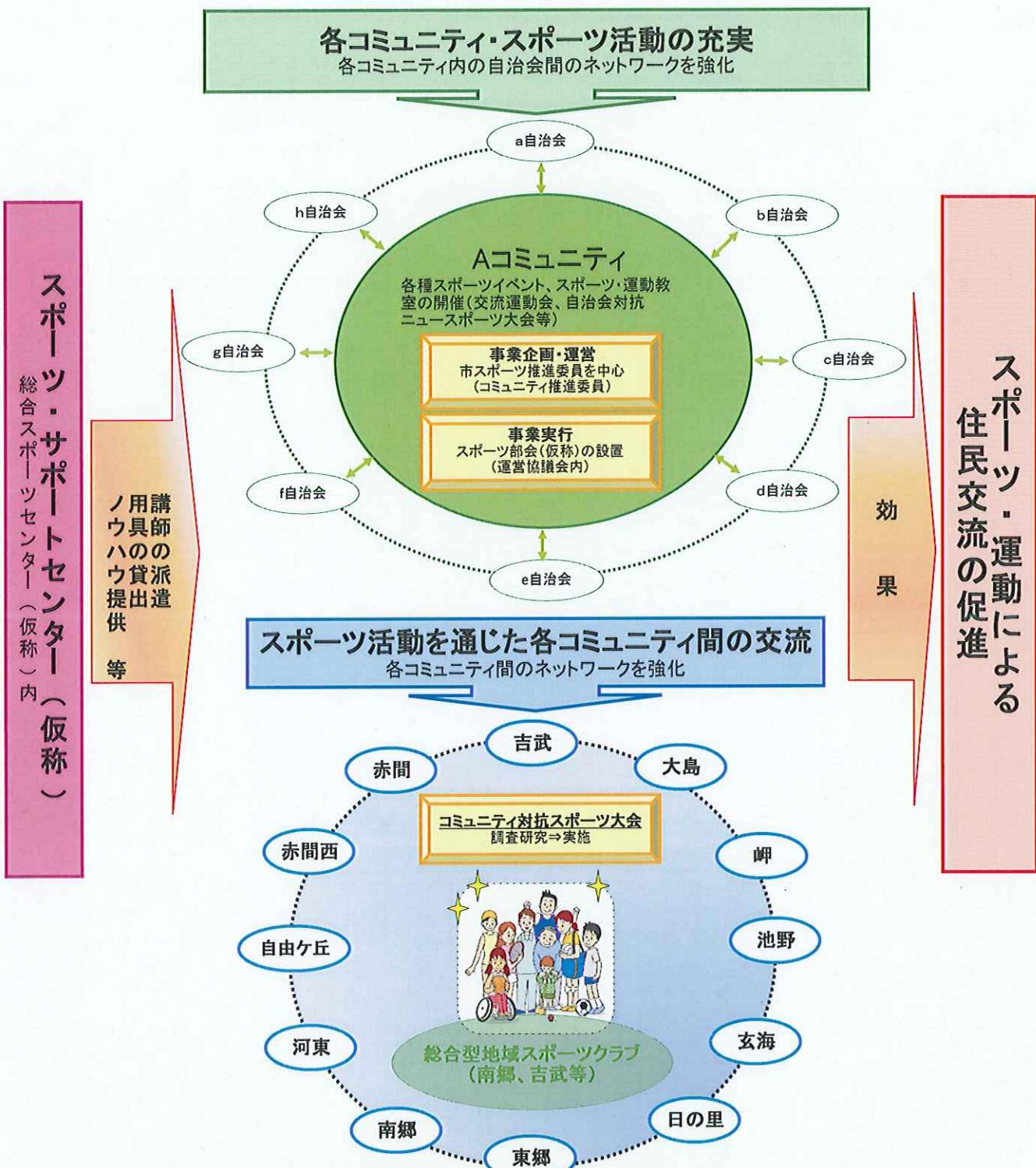
市体育協会が主体となり、市全域を対象とした総合型地域スポーツクラブを立ち上げ、「日頃、スポーツ・運動をしていない人」、「他の種目をやりたい人」に対する各種スポーツ教室を開催する。



誰でも気軽に参加できるスポーツクラブ

2 スポーツ・運動を通したコミュニティ活動の活発化

コミュニティ内の住民交流をスポーツ・運動活動を通して促進するためのサポート体制を整備する。



活動内容を充実させるための取り組み

【実施メニュー】

- ①地域特性に合った住民交流スポーツプログラム企画・運営
(コミュニティごとに交流運動会や自治会対抗ニュースポーツ大会等の開催)

- ②市主催のコミュニティ対抗スポーツ大会の開催

【仕組みづくり】

- ③コミュニティ運営協議会にスポーツ部会(仮称)が設置されるよう働きかけるなど、必要に応じて、より活動しやすい組織体制を構築
- ④スポーツ、運動活動を促進するためのサポート体制の整備(スポーツ・サポートセンター(仮称)からの講師派遣)
- ⑤コミュニティを単位とする総合型地域スポーツクラブ運営支援(南郷・吉武)の継続、立ち上げ支援
- ⑥住民交流につながる運動・スポーツ活動費補助制度の調査・研究

3 子どものスポーツ機会の充実

将来にわたってスポーツ・運動をすることが好きになる子どもを増やしていく取組、体力向上のサポート体制の整備、指導者養成、学童スポーツ等の複数種目実施導入等を推進する。

- ★ スポーツ・運動を親しむ子どもを育てる
- ★ スポーツ・運動が好きな子どもを育てる
- ★ スポーツ・運動を楽しむことができる子どもを育てる

指導者研修・派遣
運動・スポーツプログラム開発・実施
スポーツセンター（仮称）
スポーツ情報の発信等

支援

スマイルキッズプログラム

③中学校体育事業(武道)及び運動部活動の支援

- ・中学校体育授業(武道)への指導者の派遣
- ・中学校運動部活動への指導者の支援



②小学生の体力向上支援

- ・福岡教育大学連携・小学校体育支援調査研究事業
- ・コオーディネーショントレーニング講座の開催
- ・民間のスポーツ指導者等の派遣
- ・小学生体力テストの支援
- ・海洋性スポーツのプログラムの開発・実施



①幼児期を対象とした支援

- ・幼児をもつ保護者向け「親子運動体験会」の開催
- ・コオーディネーショントレーニング 体験会の開催



④社会体育等における活動の支援

- ・トップアスリートの育成支援
- ・むなかた夢大使派遣事業の実施
- ・複数種目ができる環境の調査研究



スポーツ指導者体制の整備



①スポーツ指導者の育成及び活動支援

- ・コオーディネーショントレーニングの導入
- ・各種講習会・セミナーの開催

②異種目間のスポーツ指導者のネットワーク化

- ・子どもスポーツ連絡会(仮称)の設置

③小中一貫教育による体力向上に向けた教職員の共通理解

- ・中学校区で連携した体力向上プランの作成と実践

子どものスポーツ・運動を定着させるために

小学校体育授業及び中学校体育授業(武道)の充実

- ・体育授業等を通した体力向上
- ・体育授業(武道)の指導者の充実

異種目間のスポーツ指導者の共通理解(複数種目実施の環境)

- ・学童スポーツクラブ等の運営・存続
- ・運動能力向上

スポーツ指導者のスキルアップ

- ・発達年齢に応じた適切な指導
- ・スポーツ障害を発生させない指導

4 若者のスポーツ参加機会の拡充や高齢者の体力つくり支援等のライフステージに応じたスポーツ活動の推進

市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、障害の有無、興味・目的に応じて、「いつでも」「どこでも」「いつまでも」安全にスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の整備を図り、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進する。

【目標値】

成人の週1回以上のスポーツ・運動実施率 65%程度(3人に2人)

*週1回以上運動・スポーツをしている人の割合 55.6%(実績値)

(割合(実績値)は平成25年度実施「運動・スポーツ活動に関するアンケート」結果による)

指導者研修・派遣
運動・スポーツプログラム開発・実施
スポーツ・サポートセンター(仮称)
スポーツ情報の発信等

支援

支援

支援

ライフステージに応じたスポーツ・運動プログラムの開発・実施

それぞれの体力や年齢、技術、障害の有無、興味・目的に応じたスポーツ・運動プログラムを開発・実施します。

- ・親子や家族がともに参加できるスポーツ・運動プログラム
- ・20代・30代が参加できるスポーツ・運動プログラム
- ・高齢者を対象にしたグラウンド・ゴルフ大会の拡大
- ・全世代を対象としたウォーキング大会等の開催



コミュニティを単位とする総合型地域スポーツクラブの活動の支援

地域に開かれた総合型地域スポーツクラブに対して、運営面での指導・助言をはじめ、様々な支援を実施します。

- ・各種スポーツ・運動教室に必要に応じて、講師の派遣
- ・新たに立ち上げるクラブへの設立支援



障がい者のスポーツ・運動活動の支援

関係機関・団体が連携し、障がい者のスポーツ・運動活動を推進するための調査研究を行います。その過程や結果を受け、障がい者のスポーツ機会を創出します。

- ・スポット的な大会開催にとどまらず、体系的な障がい者のスポーツ・運動活動を支援する仕組みづくり



「いつでも」「どこでも」「いつまでも」安全にスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会の実現に向けて

ス ポ ー ツ ・ 運 动 の 現 状

平成25年度実施「運動・スポーツ活動に関するアンケート」結果による

スポーツ・運動の実施頻度とスポーツ・運動の希望頻度

実施頻度	希望頻度
週1回以上 55.6%	76.9%

*希望頻度が21.3%高い

スポーツ・運動をしていない、できない理由

- 仕事が多忙
- 育児・家事が多忙
- 運動・スポーツが好きでない
- 健康上の理由 etc

スポーツ・運動を行うために必要な条件

- 一緒に活動する仲間
- 気軽に参加できるスポーツ教室
- 楽しめる運動や種目の増加
- 様々な運動・スポーツの情報
- 身近な指導者 etc